



海外姉妹都市・ラピッド市で
夏のホームステイ体験



RAPID CITY
— SOUTH DAKOTA —
CITY OF PRESIDENTS

中高生海外派遣員募集!

日光市国際交流協会では、日光市の海外姉妹都市・アメリカ合衆国サウスダコタ州ラピッド市との交流及び国際理解促進事業を実施しています。

今年度もラピッド市でホームステイをしながら現地の方々とさまざまな交流をしていただく市内在住の中高生を募集します!

アメリカの大自然、文化、そして生の英語に触れる貴重な夏にしませんか?

派遣期間 : 平成30年7月23日(月)～ 8月3日(金)

派遣先 : ラピッド市 (アメリカ合衆国サウスダコタ州)

※ラピッド市のほかアメリカの他市に滞在(1泊ホテルステイ)する予定

募集定員 : 12名

募集期間 : 平成30年4月9日(月)～ 5月9日(水)

※受付時間: 午前8時30分～午後5時15分(土曜・日曜日、祝日を除く)

対象者 : 日光市内に居住している中学校2年生から高校3年生までの生徒で、本人が日光市国際交流協会の個人会員、または家族が日光市国際交流協会の家族会員であること

※会員でない方は、派遣決定後に入会していただくことになります。

費用 : 自己負担20万円程度(経費約30万円のうち)

応募方法 : 応募書類に必要事項を記入し、日光市国際交流協会事務局(日光市役所観光交流課内)まで持参または郵送

※応募書類は、日光市ホームページ (<http://www.city.nikko.lg.jp>) または当協会のホームページからもダウンロードできます。



ホストファミリー大募集!

海外からの短期訪問者を家族の一員として受入れて下さるホストファミリーを募集しています。

登録をご希望の方は日光市国際交流協会までご連絡下さい。

《ラピッド市の中高生受入予定》
7/15(日)～ 7/23(月)



【お問い合わせ先】日光市国際交流協会事務局

〒321-1292 日光市今市本町1番地 日光市役所観光交流課内

TEL: 0288-21-5196 / FAX: 0288-21-5121

E-mail: kankou-kouryuu@city.nikko.lg.jp

ホームページ: <http://www.nikkocity.org>

ラピッド市ってどんなところ？

ラピッド市はアメリカ合衆国のほぼ中央、サウスダコタ州（人口約73万人）にあり、人口約7万人です。日本との時差は-15時間です。内陸性気候で夏は30度を越え、冬は日光ほど寒くないものの雪が積もります。

1876年に金採掘の町として建設されました。周辺には西部劇映画のような平原が広がり、映画『ダンス・ウィズ・ウルブス』はここで撮影されたそうです。ネイティブアメリカンと白人との交流を描いた作品ですが、今もラピッド市にはネイティブアメリカン・スー族の居留地があります。

産業としては金・銀・ペリリウムなどの鉱業、セメントなどの建築材料製造、食肉加工業などが盛んです。また、歴代アメリカ大統領の巨大な彫刻があるラッシュモア山は観光名所として知られています。



行程(予定)

※ 日程は予定ですので、変更になる場合があります。予めご了承下さい。

日次	月日	地名	時間	行程
1	7/23 (月)	日光市役所発 東京(羽田または成田)発 ラピッド市着	午前 午後 夕刻	バスにて空港へ (乗継あり) 〈ホームステイ〉
2 9	7/24 (火) 7/31 (火)	ラピッド市		ラピッド市滞在 〈ホームステイ〉
10	8/1 (水)	ラピッド市発 アメリカの他市着	午前	アメリカの他市滞在 〈ホテルステイ〉
11	8/2 (木)	アメリカの他市発	午前	羽田または成田空港へ 〈機中泊〉
12	8/3 (金)	東京(羽田または成田)着 日光市役所着	夕刻 夜	バスにて日光へ

カスター州立公園にて



ホストファミリーの子どもたちと



☆ラピッド市中高生派遣員体験談☆

飯見 来未(平成29年度派遣)



私は今までずっとずっと海外に行ってみたくて、やっとチャンスがきて本当にうれしかったです。中学校に入ってから、英語は一つの単語にたくさんの意味がある、そんな所に惹かれて今まで英語スピーチコンテストに出たり、英語で書いてあるパンフレットを集めたり、たくさん努力してきました。

今回、派遣事業に参加して気づいたことは2つあります。それは、家族の大切さと、日本に住んでいる事の義務です。私は、ホームステイ中にある場面と出会いました。それは、家族の誰かが家を出るとき「I love you」という所です。日本ではそんなことはありませんと考えると、家族がどれだけ大切な存在か、改めて考えさせられました。また、私は派遣事業に参加する前、あまり両親とは話さずにいたけど、参加中に私が両親に連絡すると、すぐに返してくれ、感謝の気持ちをもっと伝えたいと思いました。

また、ミネソタ州へ行った時、大きな声で詳しく説明してくれた案内人を見て、自信をもって堂々とふるさとを説明できるってとてもいいなあと思いました。だから、私も日本に住んでいる以上、義務として、日本の事をもっともっと知りたいと思いました。

ラピッド市を離れる日、空港で笑顔でお別れしたいのに、涙が込み上げてきて、おさえるのに必死だったとき、家族が近くに来てハグをしながら「ここで待っているよ」と言ってくれたのがすごく嬉しかったです。なので、待っていてくれる家族をびっくりさせるためにも、日本でもっと勉強してたくさん努力して、絶対またラピッド市に行きたいです。

この経験は本当に、自分の中で大きな自信とやる気へと変わりました。他の派遣員の人もおそらく、大きな影響を受けたと思います。なので、この先もずっとこのプログラムを終わらせないでほしいと思いました。また、一度派遣員になったことを生かして、少しでもこの事業に関わりたいなあと思います。本当に貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。★★★★★★★★★★